

## 2 月授業づくり講座報告

「若手教員からの報告

小学校3年目、特別支援学校1年目の実践を振り返って」

2019年2月10日（日） 報告者 森下周亮（小学校教員）

角之倉宏彰（特別支援学校介護職員）

参加者 10名

### 1. 報告者の感想

・今回報告して、特別支援について共有する機会をもてたのは良かったです。私自身も学校介護職員として学校現場で仕事するようになってから、特別支援学校について深く知るようになりました。そして、報告を通して、私自身の今後の課題なども見えてきたので、「自分ならどうするか」や、学習の意図など、学習指導要領を見ながら理解していくことをやっ  
ていきながら、特別支援学校の教員になれるように取り組んでいこうと思います。ありがとうございました。（角之倉宏彰）

・報告の作成や発表を通して、自分の考えがまとまり、次にしなければいけないことがはっきりしました。参加者の方からは、貴重なご意見をいただくことができ、これまでの自分の実践を違った視点から見直すことができました。課題に向けて、どのように取り組んでいけばよいのか、より具体的になったと思います。

今回は理科という教科での発表でしたが、ここで学んだことは、社会科をはじめ他の教科でも生かせると思います。また、大切なことや軸となる部分は、どの教科でも同じはずだと考えています。これからも、教科や分野にとらわれず、様々なことに挑戦していき、それを今回のように表に出していくことで、深めていくことができればと思います。（森下周亮）

### 2. 参加者の感想

・特別支援学校の実態について、少しイメージが持てました。普通の学校と違うこともある一方で子どもとの関係を大切にしていくことは同じで、特支の方がその意識が強いのかも感じました。特別支援は教育の原点とも言われるので、これからの自分の力にしていきたいと思います。

・〈角之倉さん〉発表ありがとうございました。レジュメにもありましたが、子どもがまず「やってみたい！」と思えるような、興味関心を引く工夫は本当に必要なあと改めて思いました。教員と学校介護職員の協働はこれから先も課題だと思いますが、お互いにアプローチしながらよいチームワークでやっていけるといいなと思いました。

〈森下さん〉発表ありがとうございました。同じ理科の教員として学ぶことがたくさんありました。（私は中・高ですが…）実験はやっぱ子どもの興味を引くと思いますし、考え

させる手立てにもなりますよね、時間が足りないな〜と思うこと多々ですよ〜成果と課題も納得のいく発表でした。森下さんの授業楽しそうで私も受けてみたいと思いました。

- 若手の一生懸命とりくんでいる実践の報告を聞くことができうれしい。フレッシュな感じ。どうとりくんでいるかがよくわかり参考になりました。
  - とにかく若い方のレポート、がんばっているようすを知ることができたのがうれしかったです。これからもぜひたくさんレポートを書いて先輩や仲間からの意見を聞いてがんばってほしいです。
  - 授業の中では、普段子どもたち自身が学んだ知識ではなくて、授業で学んだ知識を使うことが多いですが、本で読んで知っていることなどや自分で考えて予想を立てている様子が見られたのは良かったです。児童の考えを引き出せる理科の授業になっているというのが伝わってきたので、参考にしていきたいと思いました。
  - 特別支援学校のことは知らないことばかりでしたので、今日の報告を聞いて、学校介護職員の大変さや、やりがいについて知ることができてよかったです。1年目にしてよく頑張っているらっしゃるなと思いました。子供たちとの信頼関係が大事だというのは、普通級と同じで、これからも1人1人の思いを大切にしていこうと思わせていただきました。
- 理科の報告の方も、とても聞きごたえのあるものでした。適用実験、私もやってみよう！と思いました。そして、森下さんのように、子どもたちが自分ごととして捉え、主体的に学べる授業をしたいです。今日の報告が聞けてよかったです。現場に戻っても、時間が許す限りなるべく今日のような研修会に参加したいと思います。